1. 「日光!! 日本発脱炭素観光地プロジェクト」

Aグループ オム アムラ(カンボジア) テンク ヌル イクラ (マレーシア) ウダーニ バーラスーリヤ (スリランカ)

ヤンハン(中国) 澤田 琴乃(日本)





日光!! 日本発脱炭素観光地

背景(Background)

日本は2050年を目途に、温室効果ガスの排出を全体としてゼロ(sere greenhouse gas proission)にすると発表しており脱炭素社会を実現するために、さまざまな取り 組みが始まっている。

しかし、(But)

コロナ禍で観光に公共交通機関を使う人の減少(the number of peo 自家用車の観光者の増加による二酸化炭素の増加(increase in carbon dioxide)

> 「日光!! 日本発脱炭素観光地プロジェクト」により 脱炭素社会に適応した日光の観光業を実現する





- 中禅寺湖は2万年前の男体山 噴火により渓谷がせき止めら れできたといわれている
- Lake Chuzenji or Sea of Happiness Created 20,000 years ago when Mount Nantai (2,484 m) erupted
- and blocked the river 面積は11.62㎞で、周囲は25㎞ Surface area of 11.62 km² and a circumference of 25 km

Aグループのエリア紹介(3)



Aグループのエリア紹介(2)

■ イタリア大使館別荘記念公園 (Italian Embassy Villa Memorial Park)



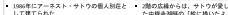
- 代の駐日大使の別荘として利用 されていた。 Built in 1928 and used by the



CONTRACTOR OF THE STATE OF THE



- 日本のモダニズム建築に 大きな影響を与えた





- た中禅寺湖畔の「絵に描いたよ うな風景」を満喫できる

インタビュー調査 INTERVIEW

- 調査目的:日光市がより魅力的な観光地になるための調査
- 調査対象:20代~70代の観光客20組

アメリカ ベトナム イスラエル スウェーデン ニュージー American Vietnam Israeli Swedes ランド New Zealanc 中国 ハンガリー Chinese Hungarian 1人 9人 4人 2人 1人 1人

- 調査実施エリア:・中禅寺湖エリア (Lake Chuzenji area)
 - ・華厳の滝 (Kegon falls)
 - 英国大使館・イタリア大使館別荘記念公園

(Villa of Embassy of Britain & Villa of Embassy of Britain Italy



インタビュー結果 INTERVIEW RESULTS

THE RESERVE OF THE STATE OF THE

交通手段 (means of transportation)



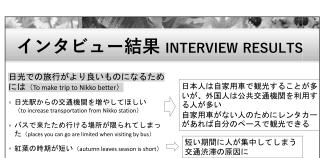
- 目家用単 (car)電車 (train)バス (bus)レンタカー (res
- ・奥日光は基本的に車でないと来られない・電車とバスを併用している人もいる

日光で感じた環境問題

(about environmental issues in Nikko)

- · 交通渋滞 (traffic congestion)
- ・ゴミ問題 (trash problems) ・買物が不便 (inconvenient for shopping)
- 交通渋滞と答える人が5割以上

特に紅葉の時期は観光客が集中する



→温暖化による気候変動の影響

英語の案内を増やしてほしい (to increase English guide)

いが、外国人は公共交通機関を利用する人が多い

日光は外国人観光客が多く訪れる 英語のパンフレットなどはあるが、 英語の看板は少ない









